

さんま棒受網漁業試験

宇野 守 一

柴田 光 夫

1. 目 的

本試験を実施して、北海道、三陸、常総各海區の漁場に於ける漁況と海況の關係、魚群の廻游状況等につき調査研究し、斯業の發展に寄與する目的で本調査を実施した。

2. 方 法

- (1) 期 間 昭和 25年 9月 17日から昭和 25年 12月 30日に至る間
- (2) 海 區 襟裳岬沖合から犬吠崎沖合に至る海區
- (3) 使用船 茨城丸 (総噸數116噸90 主機関ディーゼル 250HP)
- (4) 乗組員 船長外 38 名
- (5) 使用漁具並副漁具

棒受網 浮子側 15.5間 沈子側 20間 兩脇 16間
 發電機 10 KW (100 V 100 A) 5 KW (100 V. 50A)
 蓄電池 120 V 180 A (12 V 8個 . 6 V 1個)
 集魚灯 2KW 1個 1KW 1個
 電 球 (昼光色) 100V 500W 左舷 9個、右舷 22個 (赤色球) 左舷 5個

3. 經 過

茨城丸は 9月 17日那珂湊を出航し、本試験に着手した。

今年の北海道沖合は平年に比し、異狀高温分布し、北海道沿岸では親潮寒流が落石崎より襟裳岬にかけて急激な南下を示し、昨年とは全く異つた水温分布を示した。その結果魚群の出現範囲も昨年と全く異り、9月下旬には釧路、襟裳岬近海に魚群が南下し、其の廻游経路は必然的に接岸され、10月下旬沖合寒流の南下に伴ひ漸く E146° N40° の沖合海區に魚群の出現が見られるに至つた。

11月上旬に入り接岸親潮寒流の顯著な海況に伴ひ、魚群は一瞬に鹽屋崎附近に南下し、以後 2ヶ月間常磐海區に停滯されて居た。

茨城丸は魚群の移動に従ひ、各海區に於て大体所期の調査を実施したので、その概要を次表に掲げる。

出漁航海概要表

航海次數	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
航海期間	9.17~ 9.29	9.30~ 10.7	10.8~ 10.12	10.14~ 10.22	10.23~ 11.1	11.2~ 11.6	11.9~ 11.13	11.15~ 11.18	11.20~ 11.22	11.27~ 11.28
航海日數	10	7	5	8	9	5	5	4	3	2
操業日數	4	5	2	5	5	2	3	2	2	1
操業回數	12	52	15	49	29	12	14	16	12	8
漁獲回數	12	52	15	49	29	12	14	16	12	7
漁獲なき回數	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中心漁場	襟裳E30'	鮫角E50'	釜石E20'	鮎崎E60'	E146°N40'	那珂湊E40'	塩屋NE30'	犬吠E30'	那珂湊ESE30'	那珂湊ESE30'
漁獲量	1,500♂	7,700♂	1,800♂	3,700♂	5,500♂	3,900♂	5,00♂	10,500♂	2,400♂	200♂

航海次數	11	12	13	14	15	16	17	18	19	Total
航海期間	11.30~ 12.3	12.6~ 12.10	12.11~ 12.12	12.12~ 12.15	12.16~ 12.18	12.19~ 12.22	12.27~ 12.28	12.28~ 12.29	12.29~ 12.30	86
航海日數	4	5	2	4	3	4	2	2	2	46
操業日數	2	2	2	2	2	2	1	1	1	298
操業回數	12	14	13	23		9		3	5	297
漁獲回數	12	14	13	23		9		3	5	1
漁獲なき回數	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中心漁場	那珂湊 E40'~50'	塩屋 ENE30'	那珂湊 E20'	那珂湊 E70'	那珂湊 E30'	金華山 E50'	那珂湊 E20'~30'	那珂湊 E20' 800'	那珂湊 E30' 900'	63,800'
漁獲量	2,000'	2,400'	3,700'	9,700'	0	2,100'	0	800'	900'	

